

『秋、情熱を大切にしてほしい!』

北海道おといねっふ美術工芸高等学校長 伊藤 良平

秋は木々の葉の色の変化とともに、さわやかな風を受けながら、それぞれの「思い」を進化させることが大切ではないでしょうか。

音威子府村の秋は涼しい風とともに、季節のうつろいを実感します。村の中を流れる天塩川の周辺の山々は、濃い緑色の下地から黄緑色が少しだけ描かれ、美しい景色となっていきます。自然は忘れることなく私たちに秋の恵みをもたらしながら、ドラマチックな日々の変化をとげています。

本校の生徒も、学校生活や寮生活等を通して日々大きく成長し続けています。美術工芸に係る知識や技術を習得するとともに、進路実現に向けて決して平らな道ではありませんが一步づつ前へ進んでいます。



天塩川（9月10日撮影）

確かに、何事も変化し続けることは必要なことです。自然の移り変わりや高校生の成長は、姿は違いますが、当たり前のように社会から期待されています。これから本格的に始まる木々の紅葉は美しい景観とともに村の人の心をなごませてくれます。本校生徒の努力する姿は、学校の中核であるとともに村の宝となっています。

一方、自然も生徒もそれぞれの色や「思い」があるにもかかわらず、社会の人は目に見える変化や結果だけで評価することがあります。

先日、リオデジャネイロオリンピック、パラリンピックが南米で初めて開催されました。多くの日本選手等の活躍が報道され、それぞれの競技で私たちに最高のパフォーマンスを見せてくれました。勝った姿やメダルを取ったこととは関係なく選手のこれまでの努力を讃え、ひたむきに戦う姿、仲間を信頼しての成果に感動します。選手の声からは、「最後まであきらめない強い気持ち」「応援してくれている人への感謝」「誰よりも練習したという自信」等の「思い」が共通しています。また、負けたときに悔しい気持ちを人一倍強く持っている選手が多くいますが、環境や才能のせいにする選手は一人もいません。

勝負の世界には勝ち負けは必ずありますが、基本的に番狂わせはないと思います。多少の運、不運はあったとしても、結果はすべて自分の実力です。高校生活においてもまったく同様であり、結果よりそれまでの過程とこれからの行動が大切です。困難に出逢った時「どうせ無理」とあきらめるか、「さらに前へ」と人の見ていないところで努力を続けるかが大きな別れ道になります。どんな結果であっても自分がそれを受け止めることができたか否かが次につながると感じました。

将来、今は存在しない職業が増えることが予想され、社会の変化に対応できる人材が益々求められています。これは今の社会の変化だけではなく、どんな時代になっても対応できる力が必要となることを意味しています。その力を身につけるためには、これまでの常識にとらわれることなく、それぞれの自分の強い「思い」を信じて前へ進むことしかありません。

本校で美術工芸を学ぶ生徒たちには、秋の新鮮な風とともに、天塩川の流れを変えるようなそれぞれの情熱を大切にしてほしいです。



学校だより

No.3

平成28年9月29日発行



教務部より

教務部長 吉田 香織

4月に新入生40名を迎え入れ、早くも半年が経過しました。保護者の皆様におかれましては、慣れない環境で生活する我が子への心配も多々あったことと思います。中学生の面影を残した1年生も、この半年間で、すっかり高校生、おと高生らしく成長しました。2年生は上級生となり、自覚と責任を持って生活する姿が見られました。「自分が先輩になって、初めて先輩の気持ちが分かりました」という声もありました。後期からは生徒会役員や各部活動の部長も交代し、いよいよ2年生が学校・寮の中心的存在として一層活躍してくれると期待しています。そして3年生は、思い出に残る見学旅行から戻ると、最上級生としてあらゆる場面で学校全体を牽引しました。また卒制をはじめ、高校生活の総仕上げと進路実現のために邁進する日々を送りました。それぞれの生徒が、その学年にふさわしい成長を遂げていますのは、ひとえに保護者の皆様の支えがあつてこそと感謝しております。

期間休業が明けるといよいよ後期となります。日々の制作・学習もより高度になり、自分で考え行動することを求められる場面が多くなってゆきます。毎日全力疾走でなくとも良いと思います。少しずつで良いのです。「昨日より今日」がよい日だったな、成長できたなと思えるように高い意識をもち、一日一日を大切に過ごしたいですね。生徒の皆さんが休業中に英気を養い、後期にまた元気に帰寮してくれることを、心待ちにしています。

行事予定

10月

- 9月27日(火)～10月8日(土) 国際理解教育スウェーデン生徒派遣
- 5日(水)～7日(金) 高文連全道大会(北見)
- 8日(土)～9日(日) 学生美術全道展(札幌)
- 10日(月) 帰寮日
- 11日(火) 後期始業式
- 13日(木) 寮避難訓練
- 15日(土) 駿台ベネッセ記述試験
- 22日(土) 一日体験入学
- 27日(木) 避難訓練

11月

- 2日(水) 地区別懇談会(音威子府)
- 5日(土) 地区別懇談会(札幌) 匠号バスツアー
- 6日(日) 地区別懇談会(旭川)
- 12日(土) 寮祭
- 24日(木)～28日(月) 後期中間考査

12月

- 3日(土) センター試験プレテスト(3年)
- 高2 駿台全国マーク模試(2年)
- 22日(木) 帰省日



9月21日に、大学及び専門学校の先生が来校し、1・2年生を対象とした進路ガイダンスが行われ、どのような職業があるかや大学、専門学校で何を学べるか知ることが出来ました。



生徒指導部より

生徒指導部長 棚橋 栄治

何かにつけて「〇〇の秋」と言われる季節がやってきました。この学期間休業はそんな「〇〇」を楽しみつつ、心身共に疲労回復と充電をする日々にしてもらいたいと思います。3年生は進路選択と実現に向けての大切な時期。休業中の気の緩みから、事件や事故に巻き込まれたり事件や事故を起こしてしまったり、社会の一員としての無秩序、無責任な行動により、結果として内定や合格、推薦が取り消されたりすることのないようにしてください。勿論1・2年生も同様の注意が必要です。

休業明けには、冬に向けて衣替えをした音威子府の山々が、皆さんを迎えてくれることと思います。皆さんも冬服に衣替えとなりますので、お忘れなく。

進路指導部より

『自分らしさのジレンマ』

進路指導部長 碓矢 真由

人それぞれの顔が違うように、体格や性格も人それぞれです。また、世の中の意見もそれぞれです。多くのことが相対化される中、「自分らしさを大切にしろ」「夢を持って」という論調が多いように思います。

しかし、就職状況に当てはめると、自分らしさや夢を求める度合いが強ければ強いほど、平均年収は下がるというデータがあります。高収入を得たければ、自分らしさを封印しろと言っているようです。

「自分らしさ」「夢」良い言葉です。「高収入」これも悪くないです。しかし、両立することが難しそうです。それではどちらを選べばいいのでしょうか。その選ぶ自分の中の尺度や感覚が個性だと思います。「夢ばかり追うなよ」「ちゃんとした定職に就けよ」当然、そんな声も聞こえてきます。この声を無視するのか参考にするのかも、また個性です。

無責任かもしれませんが、どの道を選んでも良いと思います。最後まで頑張っても、頑張らなくても、結果は自分にかえってきます。ちなみに私の「雑誌のライター（そして最終的には映画のコラムを書く）」という夢は、「なれるわけねえだろう、いい加減自分の実力に気づけ」という自分自身の声によって志半ばで打ち砕かれました。

3年生のみなさん、自分の夢を追い求めますか、それとも誰かからの声を待ちますか。



8月20日～21日の期間で、札幌駅前地下広場において、上川北部に位置する本校・下川商業高等学校・剣淵高等学校・幌加内高等学校の4つの高等学校による合同PR事業を実施致しました。



9月14日～16日の期間で、デザインスクールが行われました。2泊3日の日程で、カンディハウスと札幌芸術の森を見学し、東海大学で研修を行い美術・工芸の資質と能力を高めてきました。

大修館書店による無料教材提供のお詫びと回収について

本校の生徒に対して、平成25年度から平成27年度において、大修館書店が発行する英語教科書の準拠問題集「単語・文法練習ドリル」を生徒に無償で提供され配布いたしました。これは、教科書発行者の団体である一般社団法人教科書協会が定める教科書宣伝行動基準に違反する行為です。

今後の対応と致しまして、学期間休業後2年生と3年生に配布した準拠問題集「単語・文法練習ドリル」を回収し、回収物につきましては、個人情報保護の観点から厳重に管理のうえ、大修館書店が責任を持って廃棄致します。年度途中の回収ということで、生徒の皆様にご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

本校といたしまして、教科書採択の公正性・透明性に疑念を生じさせかねない行為が二度と行われぬよう業務管理体制の強化を図り、再発防止に努めて参ります。

(大修館書店からの謝罪文(お詫びと回収のお願い)を2年生と3年生の保護者・生徒宛に同封いたしました。)



9月6日に、神戸芸術工科大学の先生による「大学で学ぶ工芸と社会のつながり」と題した特別授業を1・2年生を対象とし実施されました。

【編集後記】

前期日程を無事に終了する事ができました。

3年生は、志望する就職先や進学先に向けて手続き、試験、面接が実施されます。生徒の希望が叶う様に、教員全員でバックアップしていきます。